

## 山田錦（播磨を代表する酒米）



山田錦



山田勢三郎翁を讃える「頌徳碑」



北播磨一帯では、明治末期から大正にかけて酒米品種「山田穂」が栽培されていた。これは味のある大粒種だったが茎が長くて倒伏しやすく収量も比較的少なかった。そこで、大正末期から県立農事試験場で、この「山田穂」と「短稈渡船（たんかんわたりぶね）」という酒米品種との人工交配による品種改良事業が行われ、昭和11年（1936）に今の「山田錦」が奨励品種に指定され、酒米のエースとしてデビューした。

山田錦は現在でも最高の酒造好適米である。また山間部で朝夕は冷え込み、日中は気温が高い一日の気温の変化が大きい場所で粘土質の田が適している。

多可町の石原坂トンネル出口には、「山田錦」誕生のきっかけをつくったと伝えられる山田勢三郎翁を讃える「頌徳碑」や、山田錦が稲穂のたれる様子を表したモニュメント・「山田錦発祥の地」の碑が建てられており、地域のシンボルとなっている。

出典：三木市HP、ハートにぐっと北播磨HP

<b>ふるさと兵庫を構成する主要な景観</b> <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然景観 <input checked="" type="checkbox"/> 自然・緑あふれる農山村景観 <input type="checkbox"/> 表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 <input checked="" type="checkbox"/> 地域固有の文化的景観	所在地	北播磨地域一帯
	百選等実績	
	祭礼、行事等	
	関係人物	山田勢三郎
	活動団体等	
	関連する景観	